

山田みやこの活動報告

令和2年8月6日(木)

デジタル毎日イベント オンラインLIVE

「ウィズ・コロナ時代」で世界はどう変わる

出演者 毎日新聞編集編成局次長 齊藤 信宏氏
地域エコノミスト 藻谷 浩介氏

齊藤信宏氏が進行役で藻谷氏の調査に基づく報告を聞く形式。感染拡大はこの後どうなるのか、消費行動は元通りになるのか、地域移住は増えるのか、若者の東京の流入は減るのか、ウィズ・コロナを語った。

〈コロナの感染拡大 最新の数字〉

人口100万人あたりの死者数が少ない国			
スウェーデン	569人	アメリカ	477人
ドイツ	111人	日本	8人
韓国	6人	シンガポール	5人
マレーシア	4人	中国	3人
タイ	1人	台湾	0.3人
ベトナム	0.1人		

〈西太平洋の中では決して良くない日本〉

○ 7月以降死亡率は明らかに低下している。

高齢者への感染抑止は大きいですが、高齢者死者数もまた微増。感染が起きても抑える、この繰り返しのできる国同士が交流再開に進む。

○ 3密・飲食・飲酒を避ける

コロナ禍で地方への移住は進まない。なぜなら移住を考えても実践する人は2%を見るため。高齢者は都会から離れない。中高年層は東京を一流(豊か)という実体のない意識から抜け出せない(東京袋小路ともいえる)

しかし若者世代は2012年から在宅ワークをしている。メリットは定時出勤不要、無用に同じ場所にいる時間をカット、ネットで議論・営業しながら事業を実施している。離合集散して商売替えが早い、オフィスでなくサードプレイス。

日本への観光客は圧倒的に西太平洋地域(23億人)が多い。インバウンドは再生せざるを得ず、巨大市場を無視できない。東アジアから見ると日本は「きれいな庭」とみられているので、来るなどと言っても感染が収まれば向こうから来るはず。売り上げは上下するが生き延びられる会社になることだ。

デジタル毎日イベント 藻谷浩介氏と考える

「ウィズ・コロナ時代」で世界はどう変わる

2020年8月6日(木)19:00開始 オンラインLIVE

毎日新聞編集編成局次長 齊藤 信宏 地域エコノミスト 藻谷 浩介